

# 日滿司法事務共助法案特別委員會議事速記録第四號

(一八)

貴族院  
帝國議會

昭和十三年二月十四日(月曜日)午後一時

四十分開會

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ開會致シマス、民法中改正法律案ニ付テ御質問ガゴザイマシタラ御願ヒ致シマス

○子爵富小路隆直君 チヨット御伺ヒ致シマス、質問ヲ致シマス前ニモウ一應詳シク

○政府委員(井上登君) ソレデハ一應御説明申上ゲマス、此ノ民法中改正法律案ハ甚

ダ小サナ簡単ナモノデゴザイマシテ、茲ニイラッシャル法律ニ付テ一應知識ヲ御持チノ方々ノ前ニ態々御説明申上ゲル程ノコトモナク大體御分リノコト存ジマス、條文ヲ御讀ミ下サレバソレ直キニ御分リニナルコト存ジマス、法案ノ御説明ヲ申上ゲ

マス前ニチヨット一應御許ヲ得タイト存ジマスノハ、司法省ガ突如トシテ斯ウ云フ小サナ改正案ヲ出シタノハドウ云フ譯ダラウト云フ御疑モゴザイマセウト存ジマスノデ、

一應其ノ點ニ付テチヨット申上ゲタイト存ジマス、ソレハ從來司法省デ法律ノ改正ニ付テ隨分努力シテ居リマシタガ、從來ノヤリ方ハ法典ヲ全面的ニ大キク取換ヘル、譬

中改正法律案ト云フヤウナ風ニ全面的ナ變更ト云フコトヲヤッテ居リマシタノデゴザイマスガ、ソレデハドウモ非常ニ長イ時日ヲ要シマスシ、急ノ間ニ合ヘナイト云フヤウナコトモゴザイマスノデ、昨年ノ議會デ御贊成ヲ得マシテ、司法省デ昨年カラ法規整備ト云フ仕事ヲ始メタノデゴザイマス、法規整備ノ仕事ト申シマスノハ、時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ法律ヲ切張リ式ニドンヽイケナイモノヲドンヽ改メテ行ク、少シツツ……只今申上ゲマシタヤウニ全面的ニ改メルノハ非常ニ時間ヲ要シマスカラ、ソコデ簡單ニ少シヅ、惡イモノハ氣ガ付キ次第改メテ、又足リナイ所ヲ補ツテ行カウ、斯ウ云フ仕事ヲ始メタノデゴザイマシテ、其ノ第一回ノ提案ガ只今是カラ御審議願フ民法中改正法律案デゴザイマス、ソコデ第一回ノ仕事ト致シマシテモ甚ダ貧弱ノヤウデアリマスケレドモ、サウ云フ譯デコンナ小サナ改正案ヲ少し提出致シマシタ次第デゴザイマス、其ノ點御了承願ヒマシテ、ソレデ以テ無論民法民事訴訟法ノ改正ヲ廢メル譯デゴザイマセヌ、又引續イテ法規整備ノ仕事ノ續キマス限リハ毎年々々御厄介ニナラナケレバナラスト存ジマス、引續イテ改正致シマス、依リマスト、從タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ハ先づ主タル事務所所在地ニ於ケル登記ヲ致シマシテ、其ノ登記ノ出來タト云ハ短イ、殊ニ此ノ非訟事件手續法ノ規定ニ依リマスト、從タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ハ先づ主タル事務所所在地ニ於ケル登記ヲ致シマシテ、其ノ登記ノ出來タト云コトヲ證明スル書面ヲ添付致シテ、サウシテ從タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ノ申

ヘテ申シマスト、今回提出致シマシタ商法

員會官制ガ法制局ヲ通過致シマシタノガ、

昨年ノ十一月、初メノ總會ヲ開イタノガト二月ニナツシマヒマシタ、其ノ關係上今回ノ議會ノ開會迄ニ一月バカリシカナカッタモノデアリマスカラ、甚ダ調査準備ノ時日ヲ要スルヤウナ仕事ハ何モ出來ナカッタノ

デアリマス、極ク簡單ナ餘リ調査等ニモ時日ヲ要シナイヤウナコトデ、而モヤラナケレバナラナイト存ジマシタ事ダケヲ選ビマシテ、サウシテ今回提案致シマシタ次第デゴザイマス、其ノ爲ニ第一回ノ仕事ト致シマシテモ甚ダ貧弱ノヤウデアリマスケレドモ、サウ云フ譯デコンナ小サナ改正案ヲ少しそ提出致シマシタ次第デゴザイマス、其ノ點御了承願ヒマシテ、ソレデ以テ無論民法中改正法律案デハ矢張リ原則トシテ本店ノ所在地ニ於ケル登記ガ三週間ト云フコトニナッテ貰ヒタイト云フヤウナ要望ガ實業家カラ大變ゴザイマスノデ、今回提案致シマシタ商法中改正法律案デハ矢張リ原則トシテ本店ノ所在地ニ於ケル登記ガ二週間、支店ノ所在地ニ於ケル登記ガ三週間ト云フコトニナッテ貰ヒタイト云フヤウナ要望ガ實業家カラ大變ゴザイマスノデ、今回提案致シマシタ商法中改正法律案デハ矢張リ原則トシテ本店ノ所在地ニ於ケル登記ガ二週間、支店ノ所在

地ニ於ケル登記ガ三週間ト云フコトニナッテ貰ヒタイト云フヤウナ要望ガ實業家カラ大變ゴザイマスノデ、今回提案致シマシタ商法中改正法律案デハ矢張リ原則トシテ本店ノ所在地ニ於ケル登記ガ二週間、支店ノ所在

地ニ於ケル登記ガ三週間ト云フコトニナッテ貰ヒタイト云フヤウナ要望ガ實業家カラ大變ゴザイマスノデ、今回提案致シマシタ商法中改正法律案デハ矢張リ原則トシテ本店ノ所在地ニ於ケル登記ガ二週間、支店ノ所在

請ヲシナケレバナラナイコトニナッテ居リマス、從ツテ先ヅ主タル事務所ノ所在地デ登記ヲシテカラデナケレバ、從タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ガ出來ナイコトニナリマスカラ、之ヲ兩方共同ジ期間中ニヤラナケレバナラナイト云フコトハ不合理デアリマスカラ、ソレデ從タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ハ主タル事務所ノ所在地ニ於ケル登記ヨリモ一週間餘裕ヲ置カウト云フノガ此ノ改正案ノ趣旨デゴザイマス、ソレデ民法ノ四十五條、ソレカラ四十六條、四十條、七十七條、此ノ改正案ハ皆唯其ノ趣旨デアリマス、同ジコトデアリマス、唯此ノ四十八條ヲ改正案ノ内ニ四週間ト云フノガ一ツ出テ参リマスガ、是ハ從タル事務所ヲ移轉致シマシタ場合ノ登記デゴザイマス、此ノ場合ニハ先ヅ主タル事務所ノ所在地ニ於ケル移轉ノ登記ハ二週間内ニ登記スル、ソレカラ舊所在地ニ於テ三週間内ニ登記スル、ソレカラ新所在地ニ於テハ四週間、一週間置キニ先ヅ主タル事務所ヲヤツテ、ソレ新所在地デヤルト云フコトニナリマスカラ、カラ舊所在地デヤツテ、其ノ證明ヲ以テ今度一週間遅レニナリマスカラ、四週間ト云フ數字ガ出テ参リマス、其ノ外ハ皆主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務

所ノ所在地ニ於テハ三週間ト云フコトニ致シタダケデゴザイマス、第二ノ改正事項ハ、相手方ノ知レナイ場合意思表示ヲシヨウトシマス場合、相手方ガ誰ダか能ク分ラナイト云フヤウナ場合、相手方ハ誰ダト云フコトハ分ツテ居リマシテモ、其ノ居所ガ分ラナイ、何處ニ居ルカ先ヅ分ラナイト云フヤウナ場合ニハサウ云フ者ニ對シテ意思表示ヲスルコトガ事實上出來マセヌカラ、ソレヲサウ云フ意思表示ヲ有效ニスルコトガ出來ル方法ヲ設ケヨウト云フノガ第二ノ改正ノ趣旨デゴザイマス、其ノ方法ハ大體民事訴訟法ノ公示送達ノ規定ガアリマスガ、唯モウ少シ注意スレバ相手方ノ住所ハ分ル筈モウ少シ注意スレバ相手方ノ住所ハ分ル筈デアツクノニ、過失ニ依ツテ知ラナカツタ、或ハ故意ニ分ツテ居ツテモ裁判所ヲ騙シテヤツタ云フヤウナ時ニハ、其ノ到達ノ效力ヲ生ジナイト云フコトニ致シマス、只今申上ゲマシタノハ民法第九十七條デアリマス、モウ一つノ改正事項ハ百七十四條ノ二ト云モノヲ設ケマシタ、是ハ民法ニ一年トカ、二年トカ云フ短期ノ時效ニカカル權利ニ付テノ規定ガゴザイマスガ、民法ガサウ云フ短期時效ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ、申ス迄モナク、例ヘバ動産ノ代金、勞働者ノ賃銀ト云フヤウナ債權、斯ウ云フモノハ直チニ拂ツテシマフノガ普通デアル、勞働者ノ賃銀ヲ拂ハズニ置クト云フコトハ滅多ニナニ、餘リニ費用ガ掛リ過ギルトカ、其ノ他必要アル場合ニ、裁判所ガ至當ト認メタ場合ニ限ツテ公告シナクテモ宜シ、其ノ代リ拂ヒマシテモソレニ依ツテ一々請取證ヲ取ッ

市役所、町村役場、或ハ公證役場トカ、公ノ施設ノ掲示板ニ掲示ヲ致サナケレバナラヌト云フコトニ致シタノデアリマス、先ヅシマシテ後、一週間ヲ經テバソレニ依ツテ到達シタト看做サレル、意思表示者ノ到達ノ效力ヲ生ズルト云フコトニ致シマス、ソレカラシテ意思表示ノ相手方ヲ保護致シマスル爲ニ、表意者ガ過失ニ依ツテ知ラナカツタ、或モウ少シ注意スレバ相手方ノ住所ハ分ル筈モウ少シ注意スレバ相手方ノ住所ハ分ル筈デアツクノニ、過失ニ依ツテ知ラナカツタ、或ハ故意ニ分ツテ居ツテモ裁判所ヲ騙シテヤツタ云フヤウナ時ニハ、其ノ到達ノ效力ヲ生ジナイト云フコトニ致シマス、只今申上ゲマシタノハ民法第九十七條デアリマス、モウ一つノ改正事項ハ百七十四條ノ二ト云モノヲ設ケマシタ、是ハ民法ニ一年トカ、二年トカ云フ短期ノ時效ニカカル權利ニ付テノ規定ガゴザイマスガ、民法ガサウ云フ短期時效ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ、申ス迄モナク、例ヘバ動産ノ代金、勞働者ノ賃銀ト云フヤウナ債權、斯ウ云フモノハ直チニ拂ツテシマフノガ普通デアル、勞働者ノ賃銀ヲ拂ハズニ置クト云フコトハ滅多ニナニ、餘リニ費用ガ掛リ過ギルトカ、其ノ他必要アル場合ニ、裁判所ガ至當ト認メタ場合ニ限ツテ公告シナクテモ宜シ、其ノ代リ拂ヒマシテモソレニ依ツテ一々請取證ヲ取ッテ置クト云フコトハ滅多ニナ、請取ヲ取ツテモ直キニ失クナツテシマフ、サウ長ク保存シテ置クコトモ少イ、詰リ権利關係ガ存在シニナリ易イ爲ニ、サウ云フ短期時效ノ規定ヲ設ケタノデゴザイマスガ、確定判決ニ依ツテモウは債權ガアルト云フコトガスッカリ決リマシタヤウナ場合ニハ、サウ云フ短期ノ時效ニカカル理由ト云フノハ認メナイ譯デゴザイマスカラ、確定判決ヲ經マシタ後ニハ、サウ云フ短期時效ノ規定ノアル債權其ノ他ノ權利ニ付キマシテモ、十年ノ時效ニカケルト云フ風ニ改正致シタイ、是ガ百七十四條ノ第一項、第二項ハマダ辨濟期ノ來テ居ナイ債權ニ付テハ之ヲ除外スル、例ヘバ今日判決ガ確定致シマシテ、原告ガ被告ニ對シテ家賃ナラ家賃ヲ百圓ナラ百圓月々取ル權利ガアルト云フコトガ確定致シマシテモ、マダ來月分再來月分ハ取レルカ取レナイカ分ラナイ、假令貨借契約ガゴザイマシテ、サウ云フ債權ガアルト致シマシテモ、家ヲ使ハセネバ取ラレナイカラ、判決確定後ニ使ハシタカドウカト云フコトハハツキリンナイ、左様ナ場合ガゴザイマスカラ、マダ辨濟期ノ來テ居ナイ債權ニ付キマシテハ、假令確認判決ガゴザイマシテモ、

只今申上ゲタ第一項ノ規定ヲ適用シナイト

云フノデゴザイマス、民法ノ改正デハソレ

ダケデゴザイマス

○子爵富小路隆直君 二三點チヨット御質

問シテ見タイト思ヒマス、此ノ九十七條ノ

二ノ所ノ意思表示ノ件ニ付テ先づ公示ノ方

法ト云フコトニ付テデスネ、先程モ御話ニ

ナリマシタガ、裁判所ノ前ニ行ッテ見マス

ト、彼處ニ吊シテアル、金網ガ張ッテアッテ

中ヘハ入レナイ、ソレヲ見ルコトハ出來ナ

イ、其ノ點デモアリマセウガ、此處ニ官報

又ハ新聞紙ニ掲載スルト云フコトガアリマ

スガ、アレハ一體ドウ云フ譯ナンデアリマ

セウカ、金網ヲ張ッテ見ルコトモ出來ナイト

云フ……

○政府委員(井上登君) ソレハ元ハ金網ハ

ナカツタノデアリマスガ、剥シテ持ッテ行ッ

チヤツタリ何カスルモノガアリマスノデ、其ノ

必要上ア、云フ風ニシタノデアリマスガ、

書記ニ見セロト言ヘバ何時デモオ見セスル

コトガ出來ル筈ニナッテ居リマス

○子爵富小路隆直君 重ネテ伺ヒマス、二

項ノ後ノ方ニ書イテアリマス「官報及ヒ新

聞紙ノ掲載ニ代ヘ市役所、町村役場又ハ之

ニ準スヘキ施設ノ掲示場ニ掲示」スルト云  
フコトガアリマスガ、是モ矢張リ今ノ金網

示ノ條文ニ依リマスト、チヨット素人考ヘデ

ト同ジヤウナ方法デモ宜イノデスカ

意思表示ヲ受ケル方ニ於テ現行法トノ場合  
ト比較シテ、改正法ニナレバ不利益ヲ招ク

カ、正當ナラザルコトニ於テ不利益ヲ招ク

コトヘ是ハ已ムヲ得ナイ、サウデナクシテ

非常ニ不利益ヲ以前ヨリモ受ケルヤウナ場

合ガアリハセヌカト云フコトガチヨット想

像サレマスガ、是ハ如何デアリマスカ

○政府委員(井上登君) 御尤デゴザイマス、

示送達ト云フノハ非常ニ危ヤウニ御思ヒ

ニナルノハ當リ前ト存ジマスケレドモ、公

示送達ヲ許シマス前ニ裁判所デ非常ニ慎重

ニ調査致シマス、無暗ニ裁判所デ許可致シ

マセヌ、ドウシテモ知レナイ場合ニ限ッテ許

可致ジマスカラ大抵危険ヘナイト思ヒマス、

マセヌ、ドウシテモ知レナイ場合ニ限ッテ許

可致ジマスカラ大抵危険ヘナイト思ヒマス、

只今民事訴訟法デハ公示送達ヲヤッテ居リ

マスケレドモ、ズット以前ハ相手方が知レテ

居ルノニ相手方ニ届カナイヤウニ態ト此ノ

方法デヤッテ問題ニナッタコトガアリマス、

ズット以前ニハアリマシタガ、私共ガ判事ニ

ナリマシテカラ二十年位ニナリマスガ、少

クトモ私共ガ致シマシタノニハ一回モ後デ

苦情ガ出タノハゴザイマセヌカラ、裁判所

ガ慎重ニ調査致シタト云フ點デ、大體其ノ

居所ガ知レナイ爲ニ意思表示ヲスルコトガ

危険ト、ソレカラ正當ノ権利者ガ相手方ノ

觀念ガアルノデゴザイマスケレドモ、其ノ

出来ナイ、其ノ爲ニ受ケマス非常ナ不利益

ヲ、天秤ニ掛ケテ見マスト、表示者ガ不利

益ヲ受ケル場合ノ方ガ數ニ於テモ非常ニ多

ウゴザイマスガ、其ノ方ガ非常ニ重要デヤ

カラ早ク此ノ方法ヲ決メナケレバナラヌト

云フコトヘ非常ニ希望サレテ居リマス、現

ニ民事訴訟法デヤッテ居リマス

○子爵富小路隆直君 大體只今ノ點ニ付テ

ハ分リマシタ、斯ウ云フ條文ハ外國ノ立法

ト比較シテ、改正法ニナレバ不利益ヲ招ク

コトガアリハシナイカ、勿論何ト云ヒマス

○子爵富小路隆直君 是ハ少クトモ誰デモ

見得ルヤウニヤラナケレバナラヌ譯デスネ

○政府委員(井上登君) 勿論左様ニ存ジマ

スケレドモ、チヨット御覽ニナリマスト、公

示送達ト云フノハ非常ニ危ヤウニ御思ヒ

ニナルノハ當リ前ト存ジマスケレドモ、公

示送達ヲ許シマス前ニ裁判所デ非常ニ慎重

ニ調査致シマス、無暗ニ裁判所デ許可致シ

マセヌ、ドウシテモ知レナイ場合ニ限ッテ許

可致ジマスカラ大抵危険ヘナイト思ヒマス、

マセヌ、ドウシテモ知レナイ場合ニ限ッテ許

可致ジマスカラ大抵危険ヘナイト思ヒマス、

只今民事訴訟法デハ公示送達ヲヤッテ居リ

マスケレドモ、ズット以前ハ相手方が知レテ

居ルノニ相手方ニ届カナイヤウニ態ト此ノ

方法デヤッテ問題ニナッタコトガアリマス、

ズット以前ニハアリマシタガ、私共ガ判事ニ

ナリマシテカラ二十年位ニナリマスガ、少

クトモ私共ガ致シマシタノニハ一回モ後デ

苦情ガ出タノハゴザイマセヌカラ、裁判所

ガ慎重ニ調査致シタト云フ點デ、大體其ノ

居所ガ知レナイ爲ニ意思表示ヲスルコトガ

危険ト、ソレカラ正當ノ権利者ガ相手方ノ

觀念ガアルノデゴザイマスケレドモ、其ノ

出来ナイ、其ノ爲ニ受ケマス非常ナ不利益

ヲ、天秤ニ掛ケテ見マスト、表示者ガ不利

益ヲ受ケル場合ノ方ガ數ニ於テモ非常ニ多

ウゴザイマスガ、其ノ方ガ非常ニ重要デヤ

○子爵富小路隆直君 モウ一ツ伺ヒマス

○子爵富小路隆直君 ウ云フヤウナコトニナリマスカ

○政府委員(井上登君) 此ノ過失ト云フ言

葉ハ民法ノ中ニ始終出テ参リマスガ、ソレ

ト同ジ意味デゴザイマシテ、詰リ善良ナル

管理者ノ注意ヲ缺イタト云フ場合少シ注意

スレバ分ル筈デアッタ、例ヘバ表意者ガ旅

行致シマシテ外國ナラ外國ニ参リマシテ、

通知ヲ出シテアルノニ其ノ手紙ヲ見ズニ置

イタト云フヤウナ場合デアリマス

○林頼三郎君 私モ念ノ爲ニ二、三ノ點ニ付

テ御尋ラシヨウト思ヒマス、第一ニ法人ニ

斯クノ如キ登記事項ハ第三者ノ方面カラ觀  
マスルト一日モ早ク知ルコトガ必要デアル  
ド」時代ニ於キマシテハ寧ロ期間ヲ短縮ス  
ベキデアツチ、之ヲ延長スルナドト云フコト  
ハ時代ニ逆行スルヤウニモ一面カラ考ヘラ  
レルノデアリマスガ、是ハドウシテモ延長  
シナケレバナラヌヤウナ實際上ノ必要ガア  
ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一つ詳シク御  
説明ヲ願ヒタイ

間前ニヤレナイト云フ譯デモゴザイマセヌ  
デ、手續ヲサヘ早ク出来レバ法人ノ方デハ  
幾ラデモ早クヤッテ差支ナイ、第三者ノ方  
デサウ不利益ヲ蒙ルコトハ餘リナイノデヤ  
ナイカト思ヒマス

間ヲ要スルコトガ少シク了解シ兼ネルノデアリマスガ、ドウ云フ事情デアルノデセウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○林頼三郎君 斯ウ云フ風ニ期間ヲ延長ス  
ル必要ガアルト云フコトヲ民間其ノ他カラ  
相當ニ要望ガアツタ實情アリマセウカ  
○政府委員(井上登君) 左様デゴザイマ  
ス、商法ノ改正案ナドニ付キマシテハ、非

○林賴三郎君 登記ヲシナケレバ法人ノ方  
カラ第三者ニ對抗出來ヌノデスカラ、第三  
者ハサウ云フ關係ニ於テ不利益ヲ受ケルコ  
トハ法律上ハナイケレドモ、併シナガラ實  
際カラ申シマスト登記サレベキヤウナ事柄  
ニ變更ガ生ジタ場合ニハ之ヲ早ク知ッテ之  
ニ應ジテ適當ナ處置ヲ講ズルト云フコトハ  
實際上ノ便宜ハ非常ニ多カラウト思ヒマス、  
私ノ御尋ヲスルノハ實際上ノ便宜ノ方カラ  
モウ少シ早クスル方法ヲ第三者ハ望ムノデ  
ハナイカ、斯ウ云フ考デアリマス、殊ニ此  
ノ改正案ニ依リマスト、二週間デヤナイ、  
三週間ト云フノガアリ、ソレカラ四週間ト  
云フノモアルヤウデアリマシテ、ドウモ今  
日ノ時勢ニ三週間モ四週間モ掛カラナケレ  
バ登記ガ出來ナイト云フヤウナコトハドウ  
モ甚シク悠長デアルヤウナ感じガスルノデ  
アリマスシ、殊ニ私ノ感ジマスノハ、此ノ  
七十七條中ノ改正デアリマスガ、是ナドハ  
頗ル簡單ナ事柄デアリマスカラ、斯ウ云フ  
事柄ニ付テノ登記ヲスルニ付テサマデノ時  
スノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、先ヅ主  
タル事務所デ變更登記ヲ致シマシテ、ソレ  
カラ主タル事務所デ登記ヲシタト云フコト  
ノ證明書ヲ持タナケレバ從タル事務所デ登  
記ガ出來ナイト云フコトニ非訟事件手續法  
ノ規定上ナツテ居リマス、ソレデゴザイマス  
カラ、從タル事務所ニ於テ移轉ヲ致シマシ  
タ場合ニハ、先ヅ主タル事務所ニ於テ登記  
ヲシテ、其ノ證明書ヲ貰ヒマシテ、舊所在  
地デ登記ヲ致シマス、其ノ舊所在地デ登記  
ヲシテ其ノ證明書ヲ貰ハナケレバ、其ノ新  
所在地デ登記ヲスルコトガ出來ナイ、段々  
斯ウ云フヤウナ期間ヲ置イタ結果四週間ニ  
ナツタノデアリマス、最モ敏速ヲ尊ブ商事  
取引ニ於ケル會社ノ登記ニ於キマシテモ、  
是ハ色々要望ガアリマシテ、斯ウ云フコト  
ニナツタノデゴザイマス、二週間、三週間ハ  
サウ非常ニ長イ期間トモ存ジマセヌ、大シ  
テ其ノ爲ニ不便ヲ蒙ムルト云フコトモナカ  
ラウト存ジテ居リマス

常ニ相當要望ガアツテ、サウ云フコトニシタ  
ト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレニ實際  
ニ於キマシテモ、處罰ヲ受ケテ居ルノガ相  
當ノ數アルノデアリマス

○瀧川儀作君 質問デハナイノデスガ、林委  
員ノ御質問ニ對シテ實業界ニ於ケル實情カ  
ラ申シマスト、登記關係者ガ旅行中デアル  
トカ、ソレカラ又法人ナラバ法律ヲ多少心  
得テ居リマスケレドモ、個人トナリマス  
ト、法律ヲマア心得テ居ナイ爲ニ、ウツカリ  
期間ガ過ギテ料料ニ處セラレルト云フヤウ  
ナコトデ、度々私共商工會議所ニ關係シテ  
居ル時ニ陳情シタコトモゴザイマス、ソレ  
デサウ云フコトハ甚ダ民間ノ便宜ニナリマ  
スノデ、チョット御参考ニ供シテ置キマス

○林賴三郎君 逐條ニ付テ疑ノ點ヲ質問シ  
テ宜シウゴザイマセウカ

○委員長(公爵岩倉具榮君) 宜シウゴザイ  
マス

○林賴三郎君 先程御尋ねシタ登記期間ニ  
關スル點デアリマスガ、四十五條第三項中

「一週間内ニ」ヲ「其事務所ノ所在地ニ於テ  
ハ三週間内ニ」改ム、斯ウアルノデスガ、  
其ノ事務所ノ所在地ノコトハ之ニ分ルノデ  
スガ、他ノ事務所ノ所在地ニ於テハドウ云  
フコトニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(井上登君) 是ハ二週間内ニ變  
更登記ヲ致スコトニナリマス、民法四十六  
條第二項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタ  
ルトキハ一週間内ニ登記ヲスルト云フコト  
ニナツテ居リマス、之ヲ今度ハ二週間ト三  
週間ニ變更致シタノデアリマス、是ハ今迄  
ハ事務所ガ一ツデアツタ、ソレガ是カラ二ツ  
ニナルノデゴザイマスカラ、詰リ事務所ノ  
變更ニナリマシテ、外ノ事務所ニ於キマシ  
テハ此ノ四十六條第二項ノ變更登記ヲ致ス  
コトニナリマス

○林頼三郎君 サウ致シマスト、主タル事  
務所ノ所在地ニ於テハ二週間、主タル事務  
所以外ノ他ノ事務所ノ所在地ニ於テハ三週  
間ト云フコトニナルノデスカ、サウ云フ意  
味デスカ

○政府委員(井上登君) 左様デゴザイマス

○林頼三郎君 次ニ意思表示ニ關スル改正  
ノ點ニ付テ一二御尋ネシタイノデアリマス  
ガ、此ノ相手方ヲ知ルコトガ出來ナイト  
カ、或ハ相手方ノ所在ヲ知ルコト能ハザル

ヤウナ場合ニ、此ノ公示ノ方法ニ依ツテ意  
思表示ヲスルト云フヤウナ事柄ハ、實際的  
ニ見マスト云フトドウ云フ場合ニ多ク起ル  
ノデアリマスカ、ソレヲ實例的ニ擧示シテ  
戴ケベ幸ヒデアリマス

云フ場合ニモ此ノ適用ガアルモノト思フノ  
デスガ、其ノ點ドウデセウカ  
○政府委員(井上登君) 其ノ場合ハ其ノ協議  
ガ調ツタ場合デナケレバ、分割ノ協議  
ヌ、デアリマスカラ相手方ガ何處ニ居ルカ  
分ラナイト云フヤウナ場合ハ、協議ガ調ハザル  
場合デ、二百五十八條ノ方ニ行キハシ  
ナイカト思ヒマス、矢張リ裁判上ノ分割ト  
云フコトデアリマスレバ、協議ガ調ハザル  
場合トナリハシナイカト思ヒマス

○林頼三郎君 協議ガ調ハヌト云フ場合ニ  
ハ裁判上ノ分割ニナルノデアリマスガ、協  
議ヲセムトスルノニハ二百五十六條ニ從  
テ分割ノ請求ヲシナケレバナラヌ、即チ分  
割請求ノ意思表示ヲスル必要ガアルト思フ  
ノデアリマス、然ルニ共有者ノ多數ノ者ガ實  
何所ヘ行ツテ居ルカ分ラナイト云フヤウナ  
時ニハ、此ノ改正案ノ九十七條ニ依ッテ公云  
ノ方法ニ依ッテ請求スルト云フコトガ出來ル  
ノデハナイカト思フノデアリマスガ、又斯  
クノ如ク解シテ此ノ改正案ノ趣旨ガ實際ニ  
非常ニ效果的デアルト思フノデアリマスガ  
ソコハ如何デアリマセウカ

○政府委員(井上登君) 請求ノ意思表示ダ  
ケハ無論是デヤレルト存ジマスケレドモ、

御質問ノヤウナ場合ハ、行成リ裁判所ニ請求シテモ、ソレハ協議調ハザル場合トシテ……併シマアサウ云フ風ニ御思ヒニナレバ、請求ダケハ無論此ノ方法デヤレルト存ジマス

○林頼三郎君 ソコハマア民法ノ解釋ニ歸スルカモ知レマセヌカラ、此所デ政府委員ノ意見ヲ伺ヅテモ詮ナインデアリマスガ、此ノ民法ノ部分的改正ノ要求ガ是迄相當ニ強イノデアリマス、其ノ實際上必要ヲ感ズル事例ノ主ナモノトシテ、多數ノ共有者ガソレガ所在不明デアルト云フヤウナ場合ニ分割スルコトガ出來ナイ、ソレデ共有物ノ利用ガ妨ゲラレルト云フヤウナコトガアリマスノデ、マアドノ途斯ウ云フ方法デ目的ヲ達スレバ宜シイト思フノデアリマスガ、尙民法ノ條項ニ付テハ御研究置キヲ願ヒタイ

○政府委員(井上登君) 尚十分研究致シマシテ、續々ト提出致シタイト存ジマス

○林頼三郎君 次ニ之モ念ノ爲ニ伺フノデアリマスガ、九十七條ノ二ノ一項ニハ「相手方ヲ知ルコト能ハス又ハ其所在ヲ知ルコト能ヘサルトキハ」トアリマシテ、相手方ノ生死不明ノ點ニ付テハ何等ノ規定ガナイハ意思表示ハドウ云フ方法ニ依ヅテ爲サレ

ルコトニナルノデアリマセウカ

○政府委員(井上登君) 此ノ「所在ヲ知ルコト能ハサル」ト云フ中ニ入レルヤウニ解釋シテ差支ナイト思ヒマス、生死不明ノヤウナ場合ハドウセ所在ガ分ラナインノデアリマスカラ……

○林賴三郎君 マア其ノ點ハ私共多少疑ガアルト思ヒマスガ、政府ノ原案ノ意味ガサウデアルト云フコトデアレバ、左様ニ承ッテ置キマス、又サウ云フ何等カノ方法ガナケレバ實際上困ルト思ヒマスガ、サウ云フ解釋デ行クナラバソレデ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ公示ノ方法デアリマスガ、先程富小路子爵カラ御尋モアリマシタヤウニ、表意者ニ取ッテハ非常ニ便利ナ方法デアリマスケレドモ、被表意者ニ取ッテハ時トシテハ相當危険ヲ感ジナケレバナラヌコトモアリマスガ、マア兩方面カラ考ヘテ適當ノ方法ヲ選バナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ此ノ改正案ニ依リマスト、マア原則トシテハ官報及ビ新聞紙ニ少クモ一回掲載スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、新聞紙ニモ色々種類ガアリマシテ、隨分小サナ且日刊デナクシテ、多數ノ人眼ニ觸レナイヤウナ新聞モ世間ニハ澤山アルノデアリマスガ、サウ云フ新聞ニ掲載シマシテモ實際

的ニハ效果ガナイト考ヘルノデス、此ノ法案ノ新聞紙ト云フノハドウ云フモノヲ指ス

ノデアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(井上登君) 是ハ裁判所デ公告ヲスルノデアリマスカラ、不適當ノ新聞等ハ選バナイト思ヒマス、裁判所デ相當ト認

メル新聞ニ公告ヲスルト云フコトニ此ノ法文ノ解釋上ハナル譯デアリマス、實際ニ於

テハ裁判所ガ登記ノ公告ナドヲ致ス新聞ガアルノデゴザイマス、ソレニ公告スルコトニナルト思ヒマス

○林賴三郎君 公示方法ノ但書ノ場合デアリマスガ「市役所、町村役場又ハ之ニ準ス

ベキ施設ト云フノハ大體ドウ云フモノヲ考ヘラレテアルノデアリマセウカ

○政府委員(井上登君) 民事訴訟法ノ規定ニ依ル譯デゴザイマスカラ、民法中ニ置キマシテ、ソレニ關聯シテ手續ヲ規定致シタノデ

所ガ知レナイ場合ニハ最後ノ居所ト云フコトニナル譯デゴザイマス

○林賴三郎君 ソレハ民事訴訟法ノドウ云ベキ施設ト云フノハ大體ドウ云フモノヲ考ヘラレテアルノデアリマセウカ

○政府委員(井上登君) 民法ノ二十二條デ行クヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、住所ノ知レナイ場合ニハ、居所ヲ以テ住所ト見做スアノ規定デ行クヨリ外仕方ガナイト思ヒマス

○林賴三郎君 此ノ公示ヲ求メル手續ハ非

訟事件手續法ニ依ルノデアリマセウカ、或ハ他ニ手續ノ準則デモアル譯デアリマセウ

スガ、此ノ改正案ノ九十七條ノ二ノ第二項ニハ此ノ公示送達其ノモノノ手續ハ、民事

訴訟法ノ規定ニ從フト解セラレマスケレド

スガ、此ノ改正案ノ九十七條ノ二ノ第二項ニハ此ノ公示送達其ノモノノ手續ハ、民事

訴訟法ノ規定ニ從フト解セラレマスケレド

スガ、此ノ改正案ノ九十七條ノ二ノ第二項ニハ此ノ公示送達其ノモノノ手續ハ、民事

訴訟法ノ規定ニ從フト解セラレマスケレド

スガ、此ノ改正案カラ別段ノコトガ

○林賴三郎君 此ノ改正案ノ五項ノ規定ニ依リマスト、此ノ手續ハ相手方ヲ知ルコト

リマス、事柄ノ性質ノ上カラ申セバ、非訟事件手續法ニ依ルモノデハナイカト思フノ

ノ所在ヲ知ルコト能ハザル場合ニハ相手方能ハザル場合ニハ表意者ノ住所地、相手方

ノ最後ノ住所地トナツテ居リマス、若シ最後ノ住所地ガナイカ、或ハ最後ノ住所地ガ知

レナカツタ場合ニハ、何處ノ裁判所ニ申立ヲスルノガ合法ト云フコトニナルノデアリマセウカ

○政府委員(井上登君) 非常ニ御尤ナ御質問デゴザイマシテ、是ハ其ノ本來カラ申シマスト、此ノ手續ハ非訟事件手續法ニ規定シ是ハ其ノ意思表示ノ方法效力等ニ關スル規定デゴザイマスカラ、民法中ニ置キマシテ、ソレニ關聯シテ手續ヲ規定致シタノデ致スノガ性質上ハ當然カト存ジマスガ、併シ是ハ其ノ意思表示ノ方法效力等ニ關スル

○政府委員(井上登君) 民事訴訟法ノ規定ニ依ル譯デゴザイマスカラ、民法中ニ規定シタノデアリマスカラ、民法中ニ規定シタノデアリマス、「ドイツ」民法デモ現ニサウナツテ居リマス、ソレカラ申立ノ手續モ民事訴訟法ノ規定ニ依ルノデゴザイマスカ

○政府委員(井上登君) 民法ノ二十二條デ定ニ依ルノダト云フコトハ此ノ規定デ以テ部分デ分ルノデアリマセウカ、私ニチヨット了解シニクイノデアリマス

○政府委員(井上登君) 先程仰シヤイマシタ此ノ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ掲示場ニ掲示シ且云々ト云フコトガゴザイマス、之ニ依ッテ此ノ手續ハ總テ民事訴訟法ノ規定ニ從フ、此ノ改正案カラ別段ノコトガ



レバ掲示出來ナイノデアリマスカラ、民事訴訟法ノ規定ニ從テ掲示スルト云フコトニナリマスレバ、民事訴訟法ノヤウニ當事者カラ申立ガアリ、裁判所ガ許可ヲシテ、裁判所ガソレニ基イテ掲示ヲスルト云フコトニナルト存ジマス

○林 賴三郎君 私ノ疑ヒマスノハ申立ガ  
アツタ場合ニ裁判所ガ拒否ヲ決スルニ付テ、  
又公示ニ付テ特別ナ方法ヲ執ルカ、原則的

ナ方法ニ依ルカト云フヤウナコトヲ決スル  
ニ付テ、則ルベキ手續ガナケレバナラヌト  
思ヒマスガ、ソレハドウ云フ手續ニ依ツテ  
ヤルノカ、ハッキリ致シマセヌデゴザイマス  
ガ、其ノ點ヲ御尋ネシテ居ル次第デアリマ  
ス

○政府委員（井上登君） チヨット御質問ノ  
趣旨ガ能ク分リマセヌデゴザイマスケレ  
ドモ、民事訴訟法デ申立ヲ致シマス、サウ  
スレバ裁判所ガ適當カドウカ審査致シマシ  
テ、適當ナラバソレヲ許可スル、ソレダケ  
デ結構カト存ジマスガ……

○林賴三郎君 私ハ非訟事件手續法ニ依ル  
モノナラバ之ヲ爲スベキ手續ガ明瞭ニナツ  
テ居ル、民事訴訟法ニ依ルト云フコトニナ  
ルト第何條ニ依ツテヤルノカチヨット分ラヌ  
ノデアリマス

○政府委員(井上登君) 民事訴訟法ノ百七十八條ニ「當事者ノ住所、居所其ノ他送達ヲ爲スヘキ場所カ知レサル場合又ハ外國ニ於テ爲スヘキ送達ニ付」是ハ關係アリマセヌ「場合ニ於テハ申立ニ因リ裁判長ノ許可ヲ得テ公示送達ヲ爲スコトヲ得」之ニ依ルノデアリマス

○林贛三郎君 ドウモ只今ノ御説明デハ十分ニ了解致シマセヌケレドモ、一應左様ニ承ッテ置キマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセヌカ……御質問ナケレバ次ニ民事訴訟法中改正法律案ニ付テ政府委員ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(井上登君) 民事訴訟法中改正法律案、此ノ改正致シマス事柄ハ五ツゴザイマス、先ヅ一番初ニハ第百七十八條ノ改正デゴザイマシテ、是ハ現行ノ民事訴訟法ニ於キマシテハ、公示送達ラスルノハ當事者ノ申立ガナイト裁判所ガ職權デ以テ公示送達ラスルコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、然ルニ當事者ガ、譬ヘテ申シマスト、判決ヲ得タ後ニ得ケタ方ガ何處カヘ行ツテシマッテ判決ノ送達ガ出來ナイト云フヤウナ場合ガ能ク出テ參リマス、サウスルト、當事者カラ其ノ公示送達ノ申立ガゴザイマ

セヌノデ、訴訟ガ何時迄經ッテモ完結シナ  
イ、永久ニ完結シナイト云フヤウナコトニ  
ナッテシマヒマシテ、裁判所ト致シマシテハ  
大變困ルモノデゴザイマスカラ、職權ニ依ツ  
テモ公示送達ヲスルコトガ出來ルヤウニシ  
テ吳レト云フ要望ガ實務家ノ中カラ非常ニ  
アルノデゴザイマシテ、其ノ要望ニ應ジマ  
ス爲ニ、當事者ノ居所ガ判ラナイデドウシ  
テモ送達ヲスルコトガ出來ナイ、其ノ爲ニ  
訴訟ガ非常ニ遲滯ヲシテ困ルト云フヤウナ  
場合ニハ裁判所ハ當事者カラ申立ガナクテ  
モ公示送達ガ出來ルヤウニ致シタイト云フ  
ノガ此ノ改正ノ趣旨デゴザイマス、ソレカ  
ラ百八十條ノ改正ハ、百七十八條ヲ改正致  
シマシタ爲ニ、唯字句ノ整理ニ過ギナイモ  
ノデゴザイマス、其ノ次ハ二百三十六條ノ  
改正デゴザイマスガ、是ハ現行民事訴訟法  
ニ依リマスト、原告ガ訴ノ取下ヲ致シマス  
ノニ、被告ガ一定ノ訴訟行為ヲ致シマシタ  
後ニ於キマシテハ、被告ノ同意ヲ得ナケレ  
バ訴ヲ取下ゲルコトガ出來ナイノデゴザイ  
マス、併シ原告ガ訴ヲ取下ゲテシマフト云  
フコトガ、被告ニ取リマシテハ利益コソア  
レ、決シテ其ノ爲ニ損失ヲ蒙ルコトハナイ  
ノデゴザイマスカラ、被告ノ同意ナシニ訴  
ヲ取下ゲルコトガ出來ルヤウニシテモ宜カ

ラウト云フ考カラ、先づ被告ノ同意ガナク  
テモ訴ノ取下ヲ原告カラスルコトガ出来ル  
ト云フコトニ致シマシテ、唯場合ニ依リマ  
シテハ、被告ノ方デモ一旦訴訟ニ迄ナッタノ  
ダカラ確定判決ヲ得テ置キタイト云フコト  
ヲ望ム場合モゴザイマスカラ、サウ云フ場  
合ニヘ、被告ガ三箇月ノ期間内ニ取下ニ對  
シテ異議ノ申立ヲスルコトガ出來ル、被告  
カラ異議ノ申立ガアレバ取下ハ效力ヲ生ジ  
ナイ、三箇月以内ニ被告ガ異議ノ申立ヲシ  
ナケレバ取下ハ效力ヲ生ズル、トスウ云フ  
コトニ致シタイト云フ、是モ原告ハ取下ゲ  
テシマハウト存ジマシテモ、妙ニ被告ガ同  
意ヲシナカツタリ、被告ノ同意ヲ貰フノニ妙  
ニ手間ガカヽツタリシテ、其ノ爲ニ取下ノ手  
續ガ進行シナイ、ソレデナケレバ取下ニ依ツ  
テ訴訟ガ早ク完結シテシマフノニ、其ノ爲  
ニ非常ニ完結ガ遅クナルト云フヤウナコト  
ガ實際ニ於テハ始終アリマスモノデスカラ、  
是モ實務家ノ要望ニ依リマシテ斯ウ云  
フ風ニ改正シタイト存ズル次第アリマス、  
三百六十三條ノ改正ハ、二百三十六條ヲ改  
正致シマシタ結果、矢張リ字句ノ整理ニ過  
ギナインデアリマス、其ノ次ノ事項ハ六百  
四十三條ノ改正デゴザイマスガ、此ノ六百

面ニ關スル規定デゴザイマス、現行法ニ依リマスト、競賣サレル不動産ニ賃貸借ガ附賃ヲ證スル書面ヲ添付シロ、トスウ云フコトニナッテ居リマス、詰リ賃貸借ガアル場合ニハ借賃ト期限ダケガ分ルヤウニスレバ宜シイ、ト斯ウ云フコトニナッテ居リマスケレドモ、最近ノ大審院ノ判例ニ依リマスト、借主カラ貸主ニ敷金ガ入ッテ居リマス場合ニハ、其ノ敷金ノ返還債務ヲ競落人ガ承繼シナケレバナラナイ、當然是ガ承繼スルノデアルト云フコトニナッテ居リマスカラ、其ノ敷金ガドノ位入ッテ居リマスカハ競落人ニ取ツテ大變ニ利害關係ガゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、是カラハ競賣ノ申立ノ時ニ其ノ競賣ノ目的物ニ賃貸借ガ附イテ居リマシタ場合ニハ、借賃、期限バカリデナク、敷金ガ入ッテ居リマス場合ニハ、幾ラ敷金ガ入ッテ居ルカラト云フコトモ分ルヤウニシタイ、トスウ云フノガ此ノ改正ノ趣旨デゴザイマス、ソレカラ敷金バカリデナク、借賃ノ前拂ガシテアツタ云フ場合ニモ、ソレヲ證スル書面モ添付シロト云フヤ

ウナニ改正スルコトニナツテ居リマス、  
ソレカラ六百五十八條ハ矢張リ同ジ趣旨ノ  
改正デゴザイマシテ、此ノ六百五十八條ハ  
不動産ノ競賣ノ公告ニ關スル規定デゴザイ  
マス、其ノ公告ニモ、只今申上ゲマシタヤ  
ウニ現行法デハ借賃ト期限ダケヲ書ケト云  
フコトニナツテ居リマスガ、之ニモ借賃ノ前  
拂ガアル場合ニハ其ノ額、ソレカラ敷金ノ  
入ツテ居リマス場合ニハ其ノ額ヲモ公告ニ  
書ケト云フコトニ改正ヲスルト云フダケノ  
コトデゴザイマス、次ハ六百六十四條ノ改  
正デゴザイマシテ、是ハ不動産ガ競賣ニ付  
セラレマシタ場合ニ、競買ノ申立、即チ今  
度ハ買フ方デゴザイマス、幾ラデ買フト云  
フ申立ラスル、是ハ競買ト申シマス、此ノ  
競買ノ申立ラ致シマス者ハ原則トシテ保證  
ヲ積マナイデモ宜シイノデゴザイマス、唯  
利害關係人カラ保證ヲ積メト云フコトヲ請  
求ラサレマスト保證ヲ積マナケレバナラヌ  
ノデゴザイマスガ、サウ云フ利害關係人カ  
ラ特ニ申立ノナイ場合ニハ保證ヲ積マナク  
テモ宜イト云フコトニナツテ居リマス、然ル  
ニ此ノ頃競買ノ幾ラデ買フト云フ申立ラシ  
テ置キナガラ、後デ代金ヲ拂ヘナイ、流シ  
テシマフト云フ者ガ非常ニ多イ、サウ致シ  
マスト、又再競賣、競賣ノ手續ヲモウ一遍

ヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、競賣手續ガ非常ニ遅延スルノデゴザイマス、甚ダシイノハ、其ノ競賣ノ手續ヲ遅延サセル目的ヲ以テ初メカラ買フ氣ガナイノニ競買ノ申立ヲシテ後デ流シテシマフト云フ危険モ大分アルヤウデゴザイマス、サウ云フノヲ防止致シマス爲ニ、是カラハ競買ノ申立ヲスル者ハ必ズ保證ヲ積マナケレバナラヌ、利害關係人ノ申立ノ有無ニ拘ラズ保證ヲ積マナケレバナラヌト云フコトニ致シタイト云フノガ改正ノ趣旨デゴザイマス、六百六十六條以下ノ改正ハ、總テ此ノ六百六十四條第一項ヲ改正致シマシタ結果、矢張リ字句ノ整理ニ過ギナインデゴザイマス、其ノ次ハ七百五十一條ノ改正デゴザイマス、是ハ不動產ニ對シテ假差押ノ申立ガゴザイマシテ、裁判所ガソレヲ正當ト認メテ假差押ノ命令ヲ出シマスト、其ノ執行トシテ裁判所カラ不動產ニ對シテ斯ウ云フ假差押ガアッタ云フコトノ登記ノ嘱託ヲスルノデゴザイマスガ、其ノ登記ノ嘱託ヲ出託ヲ出スノカ、或ハ不動產ノ所在地ノ區裁判所デサウ云フ嘱託ヲ出スノカト云フコト押命令ヲ出シタ裁判所デサウ云フ登記ノ嘱託ヲ出ス付テ、解釋上爭ガゴザイマシテ、現ニ裁

判所ノ實際ニ於キマシテモ、甲ノ裁判所デ  
ハ前説ニ據ル、乙ノ裁判所デハ後説ヲ採ツテ  
居ルト云フヤウニ、裁判所内デモ解釋ガ區々  
ニナツテ居リマシテ不便デゴザイマスカ  
ラ、之ヲ法律デ一定シテシマフト云フノガ  
改正ノ趣旨デゴザイマス、サウシテ實際ノ  
便宜カラ申シマスト、假差押命令ヲ出シタ  
裁判所デ矢張リ其ノ囑託モ出シテシマフト  
云フノガ便宜デゴザイマスカラ、サウ云フ  
風ニシタイト云フノデゴザイマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 大體ニ付テノ  
御質問ヲ願ヒマス

○内田重成君 私ハ大體ニ付テ伺ヒマス、  
此ノ提案理由書ニ依リマスレバ、訴訟ノ遲  
滯ヲ避クル爲ニ此ノ民事訴訟法中ノ或部分  
ノ改正ヲスルト云フコトニナツテ居リマス  
ガ、訴訟ノ遲滞ニ付キマシテハ從來叫バレ  
テ居ツタコト久シイノデ追々政府ニ於テモ、  
民事訴訟ノ遲滞ノ防止及び進行ノ促進等ニ  
御留意ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、法制  
審議會等ニ於テ尙民事訴訟法全般ニ付テノ  
御研究ガアルコトハ思フノデアリマスガ、  
只今御提案ニナツテ居ル以外ニ於テモ、最モ  
訴訟ヲ遲滞スルト云フ大キナ原因ガ他ニ色々  
アツテ、ソレガ研究ヲサレテ居ルコトト思  
フノデアリマス、例ヘバ開廷ノ度數ヲ多ク

スル、其ノ爲ニハ準備手續等ニ於テ現在ノ

民事訴訟法ノ手續ニ大ナル變更ヲ加ヘルコ

トデアルトカ、地方裁判所及ビ區裁判所ノ

事物ノ管轄ニ付テノ變更ヲ考ヘルコトカ、

若シクハ或種ノ簡易ナル訴訟ハ非訟事件ト

シテ之ヲ取扱フヤウニ大改革ヲスルコトト

カ云フヤウナ從來私ノ聞ク所ニ依ッテモ大

キナ改正ヲ思ヒ切ッテ爲スペキ點ガ相當ニ

多イヤウニ考ヘマスガ、ソレ等ハ先程御話

ニ相成ツタ法規整備調査ノ方デ、或程度迄

ハ進シニ一部的ノ改正ヲ企テラレモ宜

カラウト思フモノモ相當アルヤウデアリ

マスルガ、現在ニ於テ此ノ僅カナル部分改

正ダケニ止マッテ居ルヤウデアリマスガ、政府

ハ引續イテサウ云フ部分改正ニ付テ今少シ

マス  
○政府委員(井上登君) 訴訟ノ遲延ト云フ  
コトニ付キマシテハ司法省デモ非常ニ頭ヲ  
惱マシテ、一生懸命研究致シテ居リマスガ、  
初メニ申上ゲマシタヤウナ法規整備ノ仕事  
ハ、部分的ニ極ク小サイ改革ヲチヨイ／＼  
シテ行カウト云フノガ趣旨デゴザイマスシ、  
何分ニモ本年ハ期間モ日數モゴザイマセヌ  
デ、ムツカシイコトハチヨットモ出來ナカッタ

ノデゴザイマス、司法省全體ト致シマシテ、  
訴訟ノ遲延ヲ防ガウト云フコトニ付キマシ

テハ十分考慮致シマスシ、又此ノ法規整備

ノ範圍デヤレマス範圍ニ於キマシテハ、尙

追々十分研究致シマシテ努力致シタイト存

ジテ居リマス

○内田重成君 只今私ガ其ノ一例トシテ申  
上ゲタヤウナ事項、例ヘバ是ハ裁判所構成  
法ノ變更等ニモ相成ルノデアリマスガ、サ  
ウ云フ事項、例ヘバ法規整備委員ノ方デハ  
餘り大キ過ギル問題デアルト云フコトニナ  
リマスルナラバ、他ノ民事訴訟法全般ノ改  
正ト云フモノガ完成セザル時モ最モ急ヲ  
要スルヤウナ問題デ、サウ議論ヲ要シナイ  
ヤウナ事項ハ相當多カラウト思フ、サウ云  
フモノニ付キマシテ、審議會等ノ議ヲ經テ  
モ事項々ニ付テ部分的ニ矢張リ民事訴訟  
法ノ改正ヲ企テルト云フ御意嚮ハナイカト  
云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(井上登君) 御尤デゴザイマス  
ト加フルト云フ此ノ案ニ付テデアリマスガ、  
ナインニ職權デヤラネバナラヌヤウナ必要  
ガ他ニモアルノデアリマセウカ、ソレヲ御  
説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○林賴三郎君 訴訟ノ取下ニ關スル點デア  
ガ、裁判所ト致シマシテハ、イツ迄モ片付  
カナイノハ非常ニ困ルノデゴザイマス、實  
務家カラ非常ニは要望ガアルノデアリマ  
ス、ソレデ提案致シマシタ次第デアリマス  
ガ、リマセヌケレドモ、先程申上ゲマシタヤウ  
ニ、尙チヨイ／＼研究致シマシテ改正スベ  
キ點ハドンドンヤリタイト考ヘテ居リマス  
ガ、斯ウ云フコトニ付テハ必ズシモ三箇

月ト云フヤウナ期間ヲ要シナイデ、一箇月

位デモ十分デナイカト思フノデアリマスガ、

辯護士ガ御互ニ延期シ合ツタリスルガ爲ニ、

テノ御質問ハゴザイマセヌカ

○林賴三郎君 訴訟ノ遲延ヲ防グ爲ニ、各  
般ノ方策ヲ講ジナケリヤナラヌト云フコト

ハ前カラ痛感致シテ居リマス、訴訟遲滞ヲ  
避クル爲ニ民事訴訟法ニモ改正ヲシヨウト

云フ大體ノ趣意ハ誠ニ結構ト思フノデアリ

マス、百七十八條第一項ノ次ニ、此ノ原案ノ  
ヤウニ一項ヲ加ヘルト云フコトハ、成ル程裁  
判所方面カラ見テ、訴訟ヲ片付ケル、記錄

ノ始末ヲ付ケルト云フヤウナ便宜ハアルコ

トハ勿論デアリマスガ、當事者ガ申立ラシ  
ナイノニ職權デヤラネバナラヌヤウナ必要

ガ他ニモアルノデアリマセウカ、ソレヲ御  
説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○林賴三郎君 次ニ第七百五十一條ニ一項  
ヲ加フルト云フ此ノ案ニ付テデアリマスガ、  
此ノ點ハ成ル程現行法ノ條文ノ上デハハッ  
キリ致シテ居ラヌノデ、實際ノ扱ヒガ不便

デアルト云フナラバ、法文デ明白ニスルト  
云フコトハ至極結構デアルト思ヒマスガ、  
隨分是ハ古イ規定デアルノデスカラ、實例

ハ非常ニアルコトデアリマセウシ、從ツテ判  
決例ナドモアルノデハナイカト思フノデス  
ガ、マダ判決例ハナイノデスカ

○政府委員(井上登君) シックカリシタ判決  
例ハナイヤウニ思ヒマス

○子爵富小路隆直君 訴訟ガ非常ニ遲レル  
ト云フコトニ付テデゴザイマスガ、私ハッキ

リ色々ノコトガ分ラナイノデゴザイマスガ  
リ色々ノコトガ分ラナイノデゴザイマスガ



昭和十三年一月十四日印刷

昭和十三年一月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局